

令和5年度 社会福祉学部 編入学（一般）

1

【出題意図】

・文章の読解力，設問に沿って適切に記述できる能力，論理的に思考する能力を問う。

【解 答】

問1 (ア) いろめがね (イ) みらい (ウ) みわくてき (エ) ふおん

問2 (A) 客観 (B) 主観 (C) 客観 (D) 主観

問3 (解答例)

自分は現実的で相手が変わっているのだ，と考えることの方が多いのに対して，相手ではなく自分の方が変わっているのだと考えることはかなり少なく，だから「例外」ということができる。そして，それが仮にあったとしても，誰にでもあることで特段珍しくないために，「ただの」と述べられている。(137字)

(採点基準)

- ・「例外」の意味をきちんと記述している。
- ・「ただの」と書いてある理由をきちんと記述している。

問4 (解答例)

素朴な現実主義者とは，自分自身の見解や立場が人間の現実に適したものであり，むしろ他の人の方が自分ほど現実的ではなく，客観性に欠けていると見なしている人のことを表す。ここでの「素朴な」とは，疑うことなく自分は客観的な現実をとらえていると思い込んでいる様子を指す。(130字)

(採点基準)

- ・「現実主義」とはどういうことかを記述している。
- ・「素朴な」の意味を記述している。

2

【出題意図】

基礎的な英語力を前提として，受験者が，(i) 与えられた時間内に一定分量の英文を正確に読むことができる「英語読解力」，(ii) 読解した内容について，適切かつ簡潔な表現で説明を与えられる「日本語表現力」，および (iii) 平易な語彙と文法を用いた「英語表現力」を備えている

かを問う。

これら3つの力は、本学入学後に、専門とする学問領域に対する理解を深め、自らの研究や実践の成果を積極的に発信する上で求められるばかりでなく、多様な文化的背景を持つ人びとと英語を共通言語としてコミュニケーションを図り、さらには、そういった人びとと将来にわたって協働していく技術や態度を身につける上で、必要不可欠な英語（言語）運用力の構成要素であると考えられる。

【解答】

問1（解答例）

泣くという行為は、子どもにとって、発達の最初期の段階から養育や保護を与え世話をする者に意思を伝達することを可能にし、互いの結びつきを形成する手段であるから

問2 for

問3 their negative emotions in ways other than crying

問4 (1)（解答例）

- I 私たちは、泣くのを聞いている側の反応を予期したり、操ることができる知的能力のようなものを、その子どもが新たに獲得したものと理解する。
- II 私たちは、その親子の間で情緒的絆、愛着が形成されたものと推測する。
- III 私たちは、その子どもが、泣くことを我慢し、感情を整える能力を最近獲得して、それを発揮していることが分かる。

- (2) I B
- II A
- III C

3

【出題意図】

短期大学卒業程度の常識や基礎学力を把握することを目的として、文章読解力、語彙力、表現力を問う。

【解答】

問1 (ア) 拘泥 (イ) 湧 (ウ) 危機 (エ) 硬直

問2 エ

問3 (解答例)

〈動けなさ〉の不可解さが当事者に対する否定的感情の源泉であることに思い至り、著者は自らをひきこもり当事者と非常に近い存在だと感じて共感することにこだわり、当事者のことを分かっていたつもりになっているのは、体が動かない人たちがいるという目の前の現実を捉えることができないと考えたため。(140字)

- (採点基準)
- ・本文の内容に即して、著者が理解した〈動けなさ〉と、〈動けなさ〉を捉えることができないでいた自らの状況について記述されている。
 - ・文字数制限が守られている。
 - ・文章構成が適切である。
 - ・誤字・脱字がない。

問4 (解答例)

「ひきこもり」は就労および経済的自立を果たしてこそ回復という見方がされ、とりあえず程度で動ける状態であると理解されていた。一方で、著者は「ひきこもり」を就労や対人関係に難しさにのみ苦しんでいるのではなく、生きることそのものに真っ向から対峙し、実存的疑問として格闘していることで生きるという問いをやり過ごすことができずに葛藤して動けないでいる状態であると理解できることを示している。(190字)

- (採点基準)
- ・本文の内容に即して、これまでの「ひきこもり」に関する見方・理解と、筆者による「ひきこもり」の理解について記述されている。
 - ・文字数制限が守られている。
 - ・文章構成が適切である。
 - ・誤字・脱字がない。